

議員特別研修実施報告書

報告議員名	井上 忠征	報告日	令和 6年10月31日
調査研究・研修等 名 称	地方議員研究会主催セミナー ●決算質疑特別講座①② ●病院事業会計の質問の極意 ① 自治体病院の基礎と課題 ② 病院経営質問虎の巻その1 ③ 病院経営質問虎の巻その2 ④ 病院経営収支改善のススメ		
実 施 日	令和6年9月7日（東京会場での実施日）、 令和6年10月9日～10日（博多会場での実施日）		
会 場	(在宅研修) 紙資料とUSBメモリ活用		
調査研究・研修等の 概 要	●決算質疑特別講座①② 決算質疑特別講座①では、決算質疑の目的は前年度の事業内容を確認し、予算の使い方を判断、効果を明らかにするとともに次年度以降へ反映させることにある。そのためには施策評価と総合戦略から質疑を作ることが重要である。 決算質疑特別講座②では、事前に確認しておく資料として、決算審査意見書や財務状況資料集・決算カードの解説があり、続いて特別会計の質疑のポイント（特別会計や企業会計は独立採算制のため企業経営と同じ考え方）について説明があった。 ●病院事業会計の質問の極意 研修資料①～④に基づき、下記内容について講義があった。 ① では初めに自治体病院のあり方とその使命について、次に経営・財政面で補助金や交付金の適切な受給。 ② と③では、公営企業年鑑に掲載されている病院事業の項目から、地元病院の状況を把握すること（病床利用率・職員に関する指標・医師のデータ等）。不採算地区病院や中核的な公立病院に対する特別交付税措置があること、また、各病院が行政官庁から認可されている、診療報酬の加算措置をもれなくすること。 ④ では、総務省の公立病院経営強化ガイドラインに「医療の提供体制を充実させ、患者を受け入れることで収益が改善する」とあり、今後、少子化が一層すすむことを見越して、医療関係職員の雇用が極めて大事。		

<p>調査研究・研修等の 成果と感想</p>	<p>●決算質疑特別講座①② 決算質疑については、事前に各種資料を確認して、事業の推移が計画に沿った結果となっているかとの観点から、重視すべきであること。また決算カード等により類似団体（同規模自治体）との比較を見ておくこと等、総体的な観点も合わせて決算審議に臨む必要があることを認識した。</p> <p>●病院事業会計の質問の極意 研修では、公立病院が地方における医療機関としての意義役割を改めて認識した。 病院の財務面では、改善自体が目的ではなく結果であるとして、国も地域医療を担う公立病院への支援も、充実させてきていることも理解できた。そのうえで、各病院の病床利用率を考慮して病棟の規模内容を検討すること、また、診療報酬の各種加算措置を十分受給できているのか、そのための対応すべき点は何があるのか等、今後の病院事業を審査するうえでの課題としたい。</p>
----------------------------	--

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。